

平成19年度 全国発明表彰で「内閣総理大臣発明賞」と「発明実施功績賞」を受賞
～サルファーフリーガソリンの製造特許の発明とその商業化に高い評価～

当社(社長:西尾 進路)は、社団法人発明協会※1が主催する「平成19年度 全国発明表彰※2」で、当社のサルファーフリーガソリン(硫黄分10ppm以下)の製造特許に関する発明につき「内閣総理大臣発明賞」を受賞、またその商業化につき「発明実施功績賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

この特許は、当社が1995年に出願したもので、ガソリン中に含まれる硫黄化合物を取り除き、環境負荷の小さい高オクタン価のサルファーフリーガソリンを製造可能とした当社独自の技術である「ROK-Finer/ロックファイナー」プロセスの基本特許の一つです。今回、この特許の技術面、産業面での功績が高く評価され、「内閣総理大臣発明賞」の受賞となりました。

また、当社がサルファーフリーガソリンの製造技術をいち早く商業化し、環境に対応したガソリンの供給を継続していることや、特許ライセンスにより海外でも使用されていることが高く評価され、「発明実施功績賞」の受賞となりました。

なお、「ROK-Finer/ロックファイナー」プロセスは、平成17年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰、平成18年度日本化学会化学技術賞を始め、多くの賞を受賞している技術です。

当社は、グループ経営理念において「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げており、今後も、地球環境保全に寄与する自動車用燃料の開発・製品化に挑戦し続けることで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指して参ります。

記

1. 受賞対象: 特許第3443474号「接触分解ガソリンの脱硫処理方法」
2. 受賞者:

(1)内閣総理大臣発明賞(発明者)

畑中 重人(新日本石油(株)中央技術研究所 燃料研究所所長)

滝澤 政樹(新日本石油精製(株)室蘭製油所)

定兼 修(新日本石油(株)中央技術研究所)

(2)発明実施功績賞(法人代表者)

渡 文明(新日本石油(株)代表取締役会長)

※1 社団法人発明協会:「発明の奨励、工業所有権制度の普及」を目的として1904年(明治37年)に創設された、会員約1万名を擁するわが国最大の工業所有権関係の社団法人。

※2 全国発明表彰:1919年(大正8年)に開始された日本の科学技術の向上と産業の振興に寄与した発明の創作者並びに発明の実施者を顕彰する制度。

以上

別添資料  別紙:「ROK-Finer/ロックファイナー」の概要、サルファーフリーについて(Word:25.0KB)